

確定申告書の記載手順

- 「確定申告書」は、「申告書B第一表、第二表」及び「申告書第三表(分離課税用)」の申告書用紙を使用します。ここでは、【事例1】(4ページから13ページ)に基づいて作成した「申告書B第一表、第二表」及び「申告書第三表(分離課税用)」を示して、申告書の記載手順を説明します。
- 記載手順は、矢印と番号①から⑦で記載箇所ごとに表示しています。各記載箇所の記載方法の詳細は、4ページから15ページをご覧ください。
 なお、「確定申告書」の作成に先立って、「山林所得収支内訳書(計算明細書)」(国税庁ホームページからダウンロードできます。なお、税務署にも用意してあります。)を作成します。

(記載した部分は、便宜上、青色で印刷しています。)

申告書記載に当たってのお願い

記載に当たっては、次の点についてのご協力をお願いいたします。

- 申告書等は、黒いインクのボールペンで書いてください。
 なお、申告書は複写式となっておりますが、2枚目(控用)は取り外して使用しても差し支えありません。
- フリガナは、濁点「ㇿ」半濁点「ㇻ」は一字分とし、姓と名の間は一字空けてください。
 【記載例】 縦線1本 すきまを開ける 上に突き抜ける 角をつくる
 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 閉じる
- マス目が設けられている記載欄に数字を記入する際には、右の記載例にならってマス目の中に丁寧に書いてください。
 【記載例】 (金額が1,234,500,000円の場合)
 1 2 3 4 5 0 0 0 0 0
 配 当 ④ 1 2 3 0 0 0 0
 給 与 ⑤ 2 3 0 0 0 0 0
- 記入事項を訂正する場合には、二重線で抹消し、その上の欄などの余白に適宜書いてください。

記載手順

- 「山林所得収支内訳書(計算明細書)」を作成します。(4~5、14~15ページ参照)
- 第一表の収入金額等と所得金額の箇所を書きます。(6~7ページ参照)
- 第二表を作成します。
 第二表は、②及び④の記載と併せて作成します。(第二表の記載例は、8ページを参照してください。)
- 第一表の所得から差し引かれる金額の箇所を書きます。(9ページ参照)
- 第三表の山林の収入金額や所得金額などの箇所を書きます。(10~11ページ参照)
- 第三表の税金の計算の箇所を書きます。(12ページ参照)
- 第一表の税金の計算、その他などの箇所を書きます。(13ページ参照)

申告書B第一表 平成29年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書B

住所 Y市〇〇町1-10
 氏名 大阪 太郎
 会社員 大阪太郎 本人
 生年月日 3 35 11 09

収入金額等
 給与 6 700 000
 所得金額
 給与 6 483 000
 所得金額
 給与 6 483 000

税金の計算
 復興特別所得税額 ④ 152 670
 所得税及び復興特別所得税の差引金額 ⑤ 255 700
 所得税及び復興特別所得税の合計額 ⑥ 486 500

その他
 青色申告特別控除額 ⑤① 000
 基礎控除 ②④ 38 000
 合計 ②⑤ 1 060 000

復興特別所得税額④欄の記入をお忘れなく!!
 復興特別所得税額 (④×2.1%) ④

山林所得収支内訳書(計算明細書)
 読者住所 Y市〇〇町1-10
 氏名 大阪 太郎
 氏名 大阪 太郎

申告書第三表(分離課税用)
 平成29年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書(分離課税用)

住所 Y市〇〇町1-10
 氏名 大阪 太郎

収入金額
 山林 ⑧ 25 000 000
 所得金額
 山林 ⑧ 8 010 000

税金の計算
 課税される所得金額 ⑨ 483 000
 ⑩ 377 000
 ⑪ 000
 ⑫ 000
 ⑬ 000
 ⑭ 000
 ⑮ 8 010 000

税金の計算
 ⑯ 3 265 000
 ⑰ 000
 ⑱ 000
 ⑲ 000
 ⑳ 4 005 000
 ㉑ 7 270 000